

# 平成24年2月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年3月19日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,065億円余
2. 前年同月比	-1.8% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.2%(87.3%) : 非店頭-13.9%(12.7%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年1月対比±0店)
5. 総店舗面積	915,720㎡ (前年同月比:-1.5%)
6. 総従業員数	18,819人 (前年同月比:-8.2%)
7. 3か月移動平均値	7-9月 -2.5%、8-10月 -2.8%、9-11月 -2.8%、 10-12月 -1.4%、11-1月 -1.7%、12-2月 -1.3%

[参考] 平成23年2月の売上高増減率は1.7% (店舗数調整後)

### 【2月売上の特徴】

- (1) 東京地区も月末に降雪があるなど天候不順の影響から、入店客数は前年同月比で概ね2%~3%程度 (閏年による営業日数増を調整した数値) の減少であった。
- (2) 気温低下で春物衣料が苦戦する中、紳士服(+2.1%)は健闘した。セール最終期の冬物スーツやコートなどビジネスウェアを中心に、ワイシャツ等の洋品類もよく動いた。
- (3) バレンタイン商戦は各店共に好調に推移し、前年を上回る(菓子:+3.9%)結果であった。自家需要の増大など購入動機の多様化が最近のトレンドとなっている。
- (4) 震災後1年を前に防災意識の高まりが見られ、防災関連商品がよく動いた。
- (5) 東京地区の3月の商況は、中旬までの段階で前年同月比30%前後の伸びを示している。これは、前々年の同月と比較してもプラス基調となっている。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 28.7日 (前年同月比+0.8日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比)  
①増加した: 5店、②変化なし: 4店、③減少した: 11店、④不明: 1店
- (3) 2月歳時記 (バレンタインデー、節分、立春) の売上 (同上)  
①増加した: 6店、②変化なし: 9店、③減少した: 1店、④不明: 5店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見ると傾向値)  
①増加する: 10店、②変化なし: 7店、③減少する: 2店、④不明: 2店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2012年02月

※店舗数調整後 ( )が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>106,506,903</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.8 ( -1.5)</b>
紳士服・洋品	7,257,448	6.8	2.1
婦人服・洋品	19,969,611	18.7	-3.7
子供服・洋品	2,571,320	2.4	-3.6
その他衣料品	2,200,438	2.1	-10.6
<b>衣 料 品</b>	<b>31,998,817</b>	<b>30.0</b>	<b>-2.9</b>
身のまわり品	13,348,171	12.5	-3.6
化粧品	6,008,354	5.6	2.6
美術・宝飾・貴金属	5,432,090	5.1	3.7
その他雑貨	6,559,819	6.2	-0.1
<b>雑 貨</b>	<b>18,000,263</b>	<b>16.9</b>	<b>1.9</b>
家 具	1,995,249	1.9	-1.3
家 電	998,274	0.9	32.7
その他家庭用品	3,999,208	3.8	-9.9 ( -9.9)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>6,992,731</b>	<b>6.6</b>	<b>-3.0 ( -3.0)</b>
生 鮮 食 品	4,333,266	4.1	4.5 ( 7.6)
菓 子	10,056,163	9.4	3.9 ( 4.8)
惣 菜	5,813,326	5.5	7.9 ( 9.4)
その他食料品	7,962,599	7.5	-10.1 ( -9.4)
<b>食 料 品</b>	<b>28,165,354</b>	<b>26.4</b>	<b>0.3 ( 1.6)</b>
食 堂 喫 茶	2,783,790	2.6	-0.3
サ ー ビ ス	2,169,716	2.0	7.8 ( 7.8)
<b>そ の 他</b>	<b>3,048,061</b>	<b>2.9</b>	<b>-21.6 ( -21.5)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	3,009,136 千円	-70.0
従 業 員 数	18,819 人	-8.2
店 舗 面 積	915,720 m <sup>2</sup>	-1.5

営 業 日 数	28.7 日	前年	27.9 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が5か月ぶり、食料品が2か月ぶりのプラス。マイナスは全国同様衣料品、身のまわり品、家庭用品。また、紳士服・洋品が5か月連続、生鮮食品が2か月連続、惣菜が7か月連続のプラス、化粧品と菓子が2か月ぶり、美術・宝飾・貴金属が5か月ぶり、家電が3か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	-1.8	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	2.1	0.1	5か月連続プラス
婦人服・洋品	-3.7	-0.7	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.6	-0.1	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	-10.6	-0.2	46か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	-2.9	-0.9	2か月連続マイナス
<b>身のまわり品</b>	-3.6	-0.5	4か月連続マイナス
化粧品	2.6	0.1	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	3.7	0.2	5か月ぶりプラス*
その他雑貨	-0.1	0.0	6か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	1.9	0.3	5か月ぶりプラス
家具	-1.3	0.0	11か月連続マイナス
家電	32.7	0.2	3か月ぶりプラス
その他家庭用品	-9.9	-0.4	2か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	-3.0	-0.2	3か月連続マイナス
生鮮食品	4.5	0.2	2か月連続プラス*
菓子	3.9	0.3	2か月ぶりプラス*
惣菜	7.9	0.4	7か月連続プラス*
その他食料品	-10.1	-0.8	13か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	0.3	0.1	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	-0.3	0.0	6か月連続マイナス
サービス	7.8	0.1	2か月ぶりプラス
<b>その他</b>	-21.6	-0.8	8か月連続マイナス
<b>商品券</b>	-70.0	-6.5	10か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>